

川の災害

ねん くみ なまえ

かわあそび
川遊びしているときは、川の上流の天気^かに気^きを付けよう！

川^{かわ}で遊^{あそ}んでいるときに、川^{かわ}の上流^{じょうりゅう}に黒^{くろ}い雲^{くも}があつたら、ものすごい雨^{あめ}が降^ふっているかもしれ
ないので気^きを付けましょう。

この黒^{くろ}い雲^{くも}は入道雲^{にゅうどうぐも}って呼^よんでいるけど、ち
やんとした名前^{なまえ}は積乱雲^{せきらんぐも}って言^いいます。この雲^{くも}
が山^{やま}の方^{ほう}（川^{かわ}の上^{うえ}の方^{ほう}）にあつたときに、たつ
た十分^{じゅうぶん}くらいで、急^{きゅう}に水^{みず}が増^ふえて1メートル
以上^{いじょう}も増^ふえたことがあつて、川遊^{かわあそ}びしていた人^{ひと}
たち^なが流^{なが}されるとい^いう事^じ故^こがありました。

そのときの写^{しゃ}真^{しん}が上^{うえ}の2枚^{まい}の写^{しゃ}真^{しん}です。右側^{みぎがわ}
が雨^{あめ}が降^ふる前^{まえ}で、左側^{ひだりがわ}が雨^{あめ}が降^ふっているときで
す。水^{みず}の流^{なが}れがすごいことになっ^なっているのがわ
かると思^{おも}います。

【考えてみよう】

川^{かわ}の近^{ちか}くで遊^{あそ}ぶとき、ど^どのよ^ようなこ^ことに気^きを
付^つけたらいいかな？

みんな^{みんな}で話^{はな}し合^あってま^まよ^よう。



出典：神戸市 HP（平成 20 年 7 月 28 日都賀川甲橋）